

【島のくらしの情報】

粟島

① 仕事(収入)の状況	<ul style="list-style-type: none"> ・粟島では漁業をされる第一次産業従事者と観光に携わるサービス業従事者が多くいます。 ・村では後継者になってくれるような人材を求めています。
② 住居の状況 (貸家、空き家など)	<ul style="list-style-type: none"> ・粟島には公営住宅(23戸)があります。現在、空き室・空き家はありますが、今後増やしていく予定があります。 ・住宅に関するお問い合わせ先は、粟島浦村役場総務課0254-55-2111です。
③ 医療環境の状況	<p>○常勤医師は不在ですが、粟島へき地診療所に、看護師二名が常勤しています。また、本土の厚生連村上総合病院とのテレビ診療を行っていて、オンラインによる診察が行われています。ほかに、7月～8月の日曜日には、村上総合病院から医師が派遣されて、日曜診療が行われています。</p> <p>○歯科診療は毎週金曜日に粟島へき地診療所へ歯科医が来島し、治療を行っています。</p> <p>○急患の対応としては、日中はドクターヘリで搬送し、夜間は定期船を時間外に運航し、本土の病院へ運びます。</p>
④ 福祉環境の状況	<ul style="list-style-type: none"> ・老人福祉施設は1ヶ所あり、デイサービスを提供しています。 ・安心して子どもを産み育てる環境づくりの一環として、中学生以下の子ども(付き添い者対象)、妊産婦、75歳以上前年度合計収入額100万円以下の方は船賃の半額を助成しています。 ・予防事業としては、高齢者を対象にした「イキイキ体操教室」を月2回行っています。 ・妊産婦は、本土の病院での検診・出産が必要となります。／村では妊産婦の方の負担軽減のために、海上運賃・検診料などの補助を行っています。 ・母子保健衛生事業として、各種ワクチン費等の助成を行います。
⑤ 教育環境の状況	<ul style="list-style-type: none"> ・内浦地区に粟島浦小学校(児童12名、先生6名)、粟島浦中学校(生徒13名、先生7名)があります。 ・内浦地区に粟島浦村保育園(園児8名、先生3名)があります。 ・粟島には高校はなく、島内から通学もできません。／村上市内に粟島浦村で運営する寮があり、島出身の高校生の多くはこの寮から通学しています。寮には、管理人がいて食事も提供します。 ・H25年度から「粟島しおかぜ留学」が始まり、離島留学生の受入れを行っています。(平成28年度は小学生4名、中学生6名)

<p>⑥ 上下水道・電気・ガスの状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・粟島の上下水道は100%整備されています。 ・ガスはプロパンガスです。／島内の業者が利用状況を見て回収・交換を行っています。 ・電気は島内にある火力発電所で発電されます。
<p>⑦ 本土との交通手段 (費用、時間、便数など)</p>	<p>【航路】フェリー又は高速双胴船 新潟県村上市岩船港(最寄り駅はJR村上駅。同駅からタクシーで約12分:約2,000円(乗合タクシー(要予約)約15分:700円あり。))から内浦港へ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・フェリーを利用:フェリー「あわしま」で90分(1日1~2便)・大人1,880円、こども940円(二等)。 ・高速双胴船を利用:高速双胴船「awalineきらら」で55分(1日1~3便)・大人3,790円、こども1,900円。 <p>全住民一律片道高速船2,770円、普通船1,250円。(片道高速船1,020円、フェリー630円の助成)</p> <p>【島外交通】乗合タクシー ・乗合タクシーがJR村上駅~岩船港で運行されていて、途中に3ヶ所の停留所があり、病院や買い物にも利用できるようになっている。700円。</p>
<p>⑧ 島内の交通手段 (費用、便数など)</p>	<p>【島内交通】コミュニティバス又は観光船</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティバス<県道ルート(通年)>内浦地区:粟島汽船乗り場から釜谷地区:釜谷港入口まで15分(1日5便~6便)。釜谷港入口からも同数便あり。大人(中学生以上)200円、小学生100円、未就学児無料。 ・コミュニティバス<観光ルート(4月~10月)>内浦地区:粟島汽船乗り場から釜谷地区:釜谷港入口まで45分、釜谷地区:釜谷港入口から内浦地区:粟島汽船乗り場まで45分(それぞれ1日1便~2便)。大人(中学生以上)500円、こども250円、未就学児無料。 ・観光船(4月下旬~9月下旬まで)内浦港から釜谷港まで25分。休憩10分後、釜谷港から内浦港まで35分(1日3便~4便)。半周:大人(中学生以上)600円、小学生300円。
<p>⑨ 買い物場所・物価の状況</p>	<p>【買い物場所】 ・スーパー1軒／商店2軒／レストラン・食堂6軒／売店・おみやげ店4軒</p> <p>【物価例】 2016年9月の価格 米(コシヒカリ10kg)5,078円、卵(10個1パック)210円、ティッシュペーパー(5箱入り1パック)322円、ガソリン(1ℓ)119円 ※このほか、野菜は畑で作っている方が多くいます。／ご近所を問わず、野菜や魚などのお裾分けは頻繁にあります。</p>
<p>⑩ これまでの移住実績</p>	<p>・直近三年間で、Uターン者は12世帯20人となっています。島出身者は2人がUターンしています。</p>

<p>⑪ 移住を希望される方の短期滞在、下見に対する支援の状況</p>	<p>【問い合わせ先】 粟島浦村役場総務課 0254-55-2111</p>
<p>⑫ 移住にあたっての支援の状況</p>	<p>【問い合わせ先】 粟島浦村役場総務課 0254-55-2111</p>
<p>⑬ そのほか島での暮らし方について伝えておくべき必要な情報</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・粟島には消防署がないため、消防団が日頃から防火・防災活動をしています。もし、災害があれば消防団の役割は重要になります。 ・ゴミ収集は、燃やすゴミが週2～3回、資源ゴミが週1～2回、燃やさないゴミは月1回集めていて、生ゴミは週2～3回集めて堆肥化しています。 ・内浦地区には、村営の「漁火温泉おと姫の湯」があり、観光客だけではなく村民の憩いの場として活用されています。 ・お年寄りには粟島の方言を使いますが、慣れるまでに少し時間がかかります。